



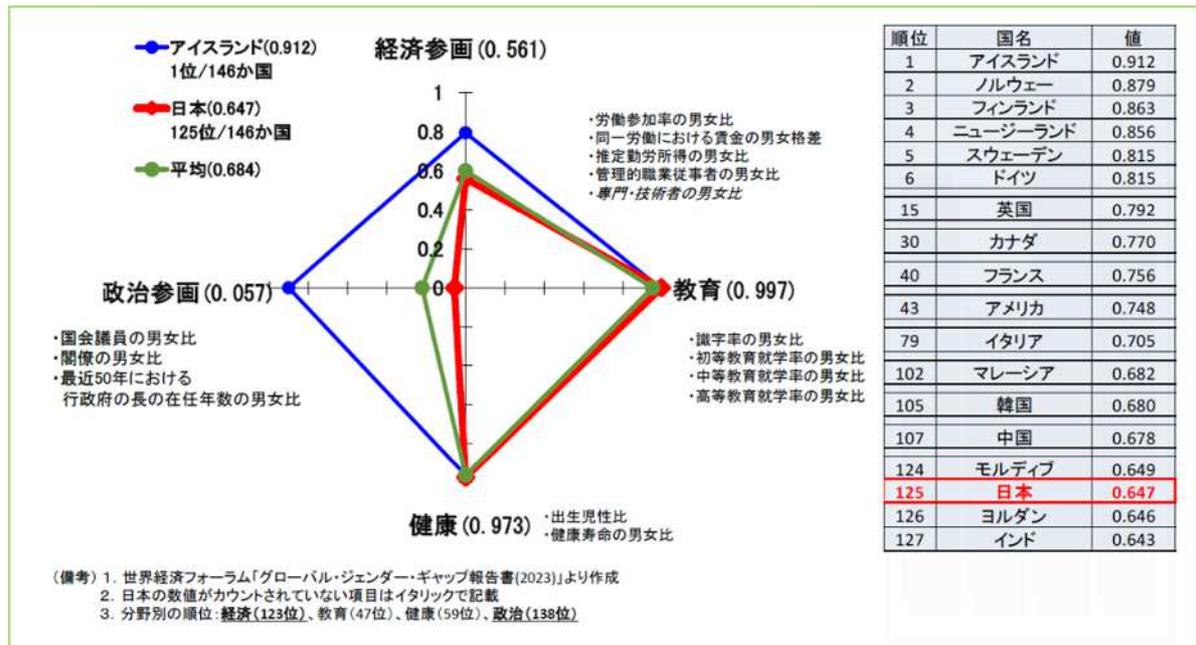
## 2023年の日本のジェンダー・ギャップ指数は過去最低の125位

「ジェンダー・ギャップ指数」とは、男女格差を評価する指標で、経済、教育、保育、政治の分野で国ごとのジェンダー平等の達成度をウエイト付けして指数を算出しています。0が完全不平等、1が完全平等を表しています。

2023年の日本のジェンダー・ギャップ指数は、世界125位です。これは過去最低の順位で、経済と政治の改善が進まないことが示されています。

### ジェンダー・ギャップ指数 (GGI) 2023年

- ◆ スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表、男性に対する女性の割合（女性の数値/男性の数値）を示しています。0が完全不平等、1が完全平等。
- ◆ 日本は、146か国中125位で、「教育」と「健康」の値は世界トップクラスですが、「政治」と「経済」の値が低くなっています。



出典：男女共同参画に関する国際的な指数/内閣府男女共同参画局

## ■ 日本のジェンダー・ギャップ指数の分野毎の順位

分野	スコア	順位
経済	0.561	123
教育	0.997	47
健康	0.973	59
政治	0.057	138

※この指数は、男女間の格差を評価するものです。

## ■ 4つの分野とそれに含まれる項目が評価されます。

### 1. 経済分野

#### ○ 労働参加率の男女比

生産年齢人口（16歳以上の人口から、高齢者や病気などの理由で働けない人を除いたもの）に占める労働人口のうちの男女の割合。

#### ○ 同一労働における賃金の男女格差

企業・団体内で同一の仕事をしていれば、同一の賃金を支給するという考え方を元にはかる、男女間賃金格差。

#### ○ 推定勤労所得の男女比

各国のGDP（国内総生産）の絶対的な大きさと、男性の賃金に対する女性の賃金の相対的格差を用いて推計される。

#### ○ 管理的職業従事者の男女比

管理職の男女の割合。

#### ○ 専門・技術者の男女比

専門技術職の男女の割合。

### 2. 教育分野

#### ○ 識字率

各国の人口の中で、文字の読み書きができる人の割合。

#### ○ 初等教育（小学校）就学率

#### ○ 中等教育（中学校・高校）就学率

#### ○ 高等教育（大学・大学院）就学率



### 3. 健康分野

- 出生時の性比
- 平均寿命・健康寿命の男女比

### 4. 政治分野

- 国会議員の男女比
- 閣僚の男女比
- 最近 50 年における行政府の長の在任年数の男女比

- ◆ 特に経済参画分野と政治参画分野において課題が残っています。政府、企業、個人の取り組みによって、ジェンダー・ギャップ指数を改善することが求められています。

#### ■ 日本の課題や原因

- ◆ 女性管理職の割合が低い
- ◆ 女性の政治参加割合が低い
- ◆ 理系学部に進学する女性が少ない



#### ■ ジェンダー・ギャップ指数を上げるための日本の取り組み

現在、日本はジェンダー・ギャップ指数が低いものの、政府・自治体・企業がさまざまな取り組みを行っています。

- ◆ 【政府】女性活躍推進法／イクメンプロジェクトの整備

女性活躍推進法は、女性がより働きやすい環境を作るためのものです。

- ・女性の活躍推進に向けた数値目標
- ・女性の職業選択に関する情報

この2つの公表を義務づけました。

また、政府が行っている取り組みに「イクメンプロジェクト」が挙げられます。

その名の通り、男性が育児を行うことを推進していくプロジェクトです。

具体的には、男性が育児休暇を取得できるように働きかけるもので、未だ取得率は低いものの、10年前と比べて数%増加しています。

◆ 【自治体】「輝く女性活躍パワーアップ企業」登録制度

各自治体も女性が活躍できる社会づくりに取り組んでいます。海老名市では、男女がともに参画できる社会づくりの促進を図ることを目的に、女性の能力を活用し、男女がともに働きやすい職場づくりにむけ、積極的に取り組んでいる市内の事業所に、毎年「女性活躍推進事業所」の表彰を行っています。

◆ 【企業】育児休暇後に復帰しやすい環境を整備

女性が育児休暇後に復帰できる環境を整えることは、女性の活躍の場を広げるだけでなく、優秀な人材を確保するといった面で企業側にもメリットがあります。

(参考：SDGsメディア『Spaceship Earth (スペースシップ・アース)』「ジェンダーギャップ指数とは？なぜ日本は過去最低の125位なのか課題と問題点【2023年】」)

知っていますか？ 男女共同参画用語 No.15

## 「ジェンダー」

生物学的な性差（セックス）ではなく、「女らしさ」「男らしさ」といった、社会や文化によって作り上げられた性の差を指します。「男は仕事、女は家庭」などの固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アイコンシャス・バイアス）、伝統や慣習、ファッションに至るまで、幅広い分野が関連します。

ジェンダーは、必ずしも男女共同参画の推進を阻害するものではありません。しかし、ジェンダーが男女の理想の姿として固定化されると、「男のくせに根性がない」「女のくせに生意気だ」など、一方の性への偏見と差別や、機会の不平等につながることもあるので注意が必要です。

### 相談係より



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

海老名市は、女性相談員による女性のための相談を実施しています。  
夫やパートナー男性からの暴力・女性の悩みについて一緒に考えます。

**女性相談ダイヤル ☎ 046-231-2224**

月～金曜日 9時15分～12時、13時～17時15分

※祝日・休日・年末年始除く ※緊急時は警察へ連絡してください



発行 海老名市 市民相談課 人権男女共同参画係  
電話 046-235-4568 (直通)

\*市HP (<http://www.city.ebina.kanagawa.jp>)でも閲覧できます。  
\*ご意見・感想は市HPのお問い合わせフォームよりお送りください。



**海老名市**  
住みたい 住み続けたいまち



男女共同参画